

## 評価細目の第三者評価結果

### 1 共通項目

#### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

I-1-1 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
I-1-1-1-①	理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
I-1-1-1-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育所の理念『保育に欠ける子どもの保育を行い、子どもの健やかな成長のために保育を行い、その健全な心身の発達を図り、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する。』が明文化され、理念をわかりやすく具体化した基本方針『豊かな人間性をもった子を育成する。』が明文化されており、当園の目指す方向性や考え方が読み取れる。</p> <p>また、具体的によりわかりやすい保育目標「心身ともにたくましい子・思いやりのある子・自分で考え表現できる子」を明文化している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-1-2 理念や基本方針が周知されている。		
I-1-2-1-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
I-1-2-1-②	理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針の職員周知については、資料を配布し、職員会議の中で、園経営の全体構想の検討園を通じて周知を図っている。また、朝礼、カリキュラム作成検討会や園内研修等の機会を捉え、周知に努めている。</p> <p>利用者周知については、園内掲示、パンフレットへの記載、ホームページでの発信、保護者会総会や行事の際での説明等を通して保護者への周知を図っている。また、園だよりを関係機関に置く等、広く周知に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

## I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	A・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>中・長期計画については、市の子ども・子育て支援事業計画を踏まえ、園独自で8カ年の中・長期計画が策定されている。</p> <p>また中・長期計画に基づき、「園経営の全体構想」として経営全体に渡る、各年度に位置付けられた事業計画が策定されている。事業計画は、「園経営の全体構想」として経営全体に渡る計画が策定されている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <p>計画には、園運営の方向性を明らかにした中・長期ビジョンや示されているが、経営全体に渡る計画までには至っていない。今後とも、計画の充実化に向けた取り組みの継続に期待したい。</p>		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	A・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	A・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>計画策定にあたっては、職員会議等で職員参画のもと、1年を振り返って課題の分析を行い、次年度の計画に反映させ、それに基づいて園経営を行っている。</p> <p>計画の職員への周知については、職員への文書配布や職員会議で説明して周知を図っている。また、評議員会で報告し、委員に助言をいただいている。</p> <p>保護者には、保護者会総会や行事後の研修会での説明を通して各計画についてわかりやすく保護者への周知を図っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

## I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行う	A・B・C

ている。		
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長の責任と役割については、年度当初の職員会議で「園経営の全体構想」をもとに説明したり、職員面談において表明している。</p> <p>また、遵守法令に関する各種研修会に積極的に参加し、職員会議や研修会等で説明し、職員のコンプライアンス意識の向上に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>園経営に関連する法律や命令（政令・府令・省令等）は多岐に渡り、また、改廃も頻繁にある。とりわけ、昨今の児童福祉を取り巻く制度動向の変動は目まぐるしく、職員周知の徹底のためには、何度も確認する必要がある。今後とも、少しずつ優先度の高い法令から再確認を行い、さらなるコンプライアンス意識の向上に努められたい。</p>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育サービスの質の現状について「保育士のチェックリスト」をもとに評価・分析を行い、見直しを通して保育サービスの質の向上に努めている。また、園長は保育の現場に身を置き、保育実践の指導に当たるとともに、園内での研究会を充実させる等、保育の質の向上に向けた取り組みに指導力を発揮している。また、職員との面接を通して職員個々の保育の振り返りや施設全体の質の向上に向けた取り組みを行っている。</p> <p>業務の効率化に努めるとともに経費節約等コスト管理に向けた取り組みにも指導力を発揮している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ・B・C

II-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	Ⓐ・B・C
II-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業全体動向の把握については、「保育士会ニュース」等の各種専門誌から情報収集し、職員周知に努めている。また市担当課、関係機関、地域団体との連携、園庭開放や子育て支援センターの相談活動等からニーズの把握に努めている。</p> <p>把握したニーズについては職員会議で課題分析を行い、次の計画につなげていくよう取り組んでいる。園の経営管理については市の担当課の管理であるが、園としても「園経営の全体構想」をもとに園経営の課題分析を行い、改善に向けて取り組んでいる。園に付与された予算の適正な執行という観点から、消耗品や光熱水費等の節約の工夫をする等コスト意識を持ち、取り組みをしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

## II-2 人材の確保・養成

II-2-(1)	人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・B・C
II-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>人事については市に裁量権があるが、園の現状を市担当課に報告し、適切な職員配置に努めている。</p> <p>人事考課については、市の客観的な人事評価基準に基づき、評価を実施している。目標管理制度を採り入れ、職員との面接の中で意見聴取を行いながら、能力評価・業務評価のフィードバックを行い、職員への能力開発や資質向上を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
II-2-(2)	職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・B・C
II-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の就業状況や有給休暇の取得状況について定期的にチェックしている。未満児の途中入園が多い園の現状や業務遂行を勘案しながら、積極的に有給休暇の取得ができるように努めている。</p> <p>メンタルヘルスチェックを実施し、カウンセラーへつなぐ仕組みがある。職員の福利厚生や健康維持については、市の制度に加えて、園独自で共済会を作り、親睦会等を実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>		
	<p>Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
	<p>Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
	<p>Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園経営の全体構想の中で、「園内研究会・週案研・月別カリキュラム研の充実や園外研修を生かす」という基本姿勢を示している。</p> <p>個別に研修の年間計画が策定され、その中で、様々な外部研修、園内研修、公開保育が実施されている。</p> <p>参加した研修についてレポートの提出や職員会議等での報告を通して職員全体に周知し、次の研修へ反映させている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。</p>		<p>第三者評価結果</p>
	<p>Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>実習生の受入れについては、実習受入れマニュアルを整備し、保育士や看護師等の各種養成校から実習生を受入れている。受入れにあたっては、オリエンテーションを実施し、実習時のカンファレンスや実習報告書を分析し、次年度の受入れに反映させている。また、中・高校生の体験学習の受入れも行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

## Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>緊急時の各種対応マニュアル（防犯・不審者対応、安全管理・事故、感染症対策等）を作成し、全職員に職員会議での読み合わせ等を通じて周知徹底している。</p> <p>災害時における子どもの安全確保について、防災マニュアルを整備し、建物の耐震化を行い、毎月、防災訓練を実施している。防災頭巾やヘルメットを用意し、訓練の時に使い方の指導を行っている。また、園は地域の避難所に指定されている。</p> <p>ヒヤリハット事例を収集し、職員会議等で分析を行い、「ヒヤリハット図」を作成して全職員に周知し、安全確保のための意識を高めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

## Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の行事に参加したり、園行事に参加していただいたりして交流を拡充している。</p> <p>近隣の子育て支援センターとの連携や園庭開放の実施を通して地域とのつながりを深めている。また、「母親学級」の開催を通して、地域の子育て支援サークルの支援を行っている。地域の民生・児童委員、自治会長、市の町づくり担当者等と密な連携関係ができています。</p> <p>ボランティア受け入れマニュアルを整備し、オリエンテーションを実施して地域のボランティア（絵本の読み聞かせ等）を受け入れしている。</p>		

改善できる点/改善方法：		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>関係機関、関係団体についての情報は職員会議等を通じて職員間で情報の共有化に努めている。</p> <p>関係機関との連携については、関係機関とのケース検討会や要保護地域対策協議会を通じて、市担当課、子育て支援センター、保健センター、発達支援センター、警察、消防、教育委員会、地域の保育所や幼稚園等との連携関係ができています。また、自治会連合会、公民館主事、民生・児童委員等の関係団体と連携をしています。</p>		
改善できる点/改善方法：		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>未就園児童家庭の支援活動や民生児童委員との情報交換や園庭開放、子育て相談等を通して地域の子育てニーズを把握に努めている。</p> <p>地域の拠点保育所として、地域のニーズに応じて、園庭開放、絵本の貸出、延長保育、子育て相談等の事業を実施している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
-----------------------------	---------

	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの最善の利益を考慮し、主体性を尊重した保育の基本姿勢が理念に明示され、園内に掲示してある。その理念を踏まえて各種計画を作成し、きめ細やかな保育を実施している。職員会議で人権に配慮した保育のあり方を検討し、人権等の園内研修を行い、職員に周知徹底を行っている。</p> <p>プライバシー保護に関してはマニュアルを整備し、研修を通じて職員に周知徹底を図っている。また、個人情報保護条例に基づき、保育を実践している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者満足の上昇に資するべく、毎年アンケートの実施を通じて保護者の意向を把握している。アンケートの意見に対して職員会議で検討し、改善し、保護者へフィードバックしている。また送迎時の声かけ、保育参加や個別懇談会等の機会を捉えて保護者の意向把握に努め、保護者の意見要望を職員会議で分析し、今後の保育の質の上昇に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ－１－（３）－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>相談窓口、第三者委員を設置し、苦情解決の仕組みを掲示するとともに、保護者会総会で説明している。また意見箱を設置し、保護者がいつでも相談や意見を述べやすい環境を整備している。送迎時に「いつでも相談に」と声かけに心がけている。</p> <p>保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備し、苦情や意見を整備し、迅速な対応に努めて</p>		



いる。
改善できる点/改善方法：

### Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>「保育士のための自己評価チェックリスト」等で自己評価を実施している。</p> <p>園の保護者評価や評議員評価を通じて課題を把握し、改善策を職員会議で検討して見直しを行う等の一連のPDCAサイクルの継続により保育サービスの質の向上を図っている。また、定期的に岐阜県福祉サービス第三者評価を受審している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>個々のサービスの標準的な実施方法については、各種マニュアルを作成し職員周知に努めている。また、理念・基本方針に基づいて保育計画を作成し、年齢別の週案・月案・日案を作成して保育を実践している。</p> <p>毎月のカリキュラム検討会や毎週の週案研の場で、保育内容の評価、課題分析を行い、より質の高い保育の実践を検討している。</p>	

改善できる点/改善方法：	
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>サービス実施の記録については、保育日誌、児童票、指導要録等に子ども一人ひとりの発達状況や生活状況等が記録されている。</p> <p>記録の管理体制については、個人情報保護に関するマニュアルが整備されており、市の規程に基づき、記録の保管、保存、廃棄を行っている。毎年、個人情報保護・情報セキュリティ研修を受講し、職員に周知している。</p> <p>子どもの状況について話し合うため、定期的または随時に事例検討会を実施している。必要に応じて、市の臨床心理士や発達相談センターの専門相談員から助言を得ている。特別な支援を必要とする子どもについて、ＡＢＡ（応用行動分析学）を活用して、子どもの行動の背景を分析することで、根拠に基づく支援に努めている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

### Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ	
Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ	
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>パンフレット、入園案内の冊子や市のホームページで園の内容について情報提供している。また、園庭開放時の来訪者や見学希望者に丁寧に対応し、体験入園にも応じている。</p> <p>入園希望の保護者にパンフレット、入園案内等説明資料を渡し、丁寧に説明している。</p>		

改善できる点/改善方法：	
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>転園に際しては、市担当課を通じ、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。就学児については、入学する小学校に保育所児童保育要録を送付し、子どもの育ちの継続が担保されるようにしている。保育修了後は、市担当課を通じて相談対応している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

### Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用者のアセスメントについては、市で統一したアセスメント様式（家庭状況、成育歴、心身状況等）を使用し、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。入園前に保護者面談を行い、子供や保護者の状況を把握している。入園後の保育ニーズを保護者懇談や送迎時、連絡帳等で把握している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>サービス実施計画の策定については、アセスメントに基づいて子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、保育課程に基づいて保護者の意向を踏まえ、指導計画を作成している。</p> <p>指導計画は、年齢別カリキュラム研、週案研、カリキュラム検討会等でふりかえりを行い、見直ししている。</p>		

改善できる点/改善方法：

(瑞浪市立一色幼稚園)

### 評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

#### 評価対象Ⅳ 保育所保育の基本 Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
良い点/工夫されている点： 人口が密集している住宅街に位置し、核家族が多い地域であり、子育て支援ニーズ等に即した保育課程を編成している。例えば、低年齢児保育、園長保育や子育て相談等を事業内容に盛り込んだり、異年齢での活動を多く取り入れたり、地域の高齢者との交流等も取り入れる等、地域の実態を踏まえて編成している。年度末に各年齢別に振り返りを行い、職員会等で評価して来年度に向けて再編成している。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
良い点/工夫されている点： 個別計画、月案、週案を作成し、一人ひとりに目を向け、子どもの発達段階に応じた支援を行っている。毎日、個別ノートに記入する他、保護者による登園時の検温を行い、健康状態を把握している。また未満児に対しては、午睡時には定期的に睡眠状態をチェックし、記録する等、細心の注意を払っている。未満児の保育室は広く、床暖房も設置され、家庭的で温かな環境づくりがされている。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
良い点/工夫されている点： 基本的な生活習慣については、子ども自身がやってみようとする気持ちを大切に、この時期に興味を持っていることを中心に、手を洗う、口を拭く、パンツをはく等、月齢を重ねるにつれて身につけていくべきことを順次教える等、適切な援助を行っている。また送迎時に保護者に一日の様子を知らせたり、相談に応じる等、家庭と連携した援助を行っている。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
良い点/工夫されている点： 各保育室の中には、ままごと等ができるコーナーのスペースが確保されている。5歳児には当番活動を通し、責任感や自信を持っていけるよう援助している。小学校を訪問し、1年生と交流する	

<p>等、就学への関心を持てるような機会を作っている。また、達成目標に向かって努力して挑戦していく活動（けん玉やホッピング等の遊び）が取り入れられている。瑞浪市の文化祭には、子どもたちで協力して作品を作り、出品をしている。年間指導計画の中で養護面と教育面の保育内容が明記され、ねらいとそのために必要な環境・配慮事項が明記されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-1-(5) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：          就学に向けて生活面や意欲、友達との関わりについての支援を行うアプローチカリキュラムを立てている。3月に実施される小学校との引き継ぎ会では一人ひとりの状況について伝えている。また、個人懇談時には、保護者に就学について話したり、不安を取り除くよう話し合いをしている。夏休みには小学校の教員が本園を訪れ、子どもたちと触れ合ったり、また、子どもたちが小学校のプールを使わせてもらったり、1年生とゲームや遊びの交流する等して自然に小学校に就学できるよう工夫している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
<p>IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：          環境面においては、保育室は広くゆったりして、自由に、遊びに取り組める場所となっている。また、各保育室の前の広いテラスはコルクのような柔らかい素材が敷き詰められているので、安全に活発な遊びもでき、雨の日の遊び場としてもまた異年齢児の交流の場としても十分活用できている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：          「半袖シャキーン」、手洗いの歌等、楽しく歌いながら自然にできるように工夫している。また、歯磨きは3歳から市の歯科衛生士による指導を年2回、受けている。うがいについても必要性を教えながらみんなと一緒にやっている。広い園庭には未満児が遊ぶ場所と、大きい子がドッジボールやかけっこができる広いスペースがあり、活発な遊びがのびのびとできる環境が整備されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：          「心も体もわくわく・どきどき躍動を」を今年の園の研究構想に挙げ、主体的に取り組んでいける子の育成を掲げて、保育を行っている。市の美術展に年長児の作品を出展したり、異年</p>	

<p>児交流としてお店屋さんごっこ、夏祭りを行っている。5歳児では、朝の会の司会や給食当番、掃除、職員室に報告をする等、年長児としての役目を果たしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（4）子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：          一年を通して散歩を行っており、特に春と秋は外遊びを多く取り入れ、どんぐり、松ぼっくり、木の実等集めてリースを作ったりする等、様々な作品作りの活動体験を行っている。また近隣の人々に野菜の栽培を指導していただき、子どもたちの作ってみたい大根やサツマイモ、なす、スイカ等夏野菜や野菜、朝顔やひまわりの花等を栽培している。また地元のお年寄りと遊びを通しての交流を行っている。園庭開放では近隣の親子との触れ合う機会を持つ等、積極的に地域の方々と関わりを持つよう努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（5）子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：          日常的に本の読み聞かせを行う他、週2回、本の貸し出しを行っている。ボランティアによる絵本の読み聞かせもあり、絵本やお話に親しむ機会となっている。その他、わらべ歌を積極的に取り入れて、童謡や唱歌を保育の中に取り入れている。訪問の際には、子どもたちの生き生きとした発表会の練習風景が見られた。劇遊びは、子どもたちが絵本の中から選んでそれを劇にしたとのことで、子どもたちが主体的に表現活動を楽しんでいる様子が感じ取れた。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### IV-3 職員の資質向上

<p>IV-3-（1）保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。</p>	<p>第三者評価結果 Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：          日誌や月案の振り返りの中で、子どもの様子が的確に記録されている。常に自分の保育を振り返り、自己評価をしながら、次の保育につなげるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### 評価対象V 子どもの生活と発達

#### V-1 生活と発達の連続性

<p>V-1-（1）子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。</p>	<p>第三者評価結果 Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：          保護者には行事ごとにアンケートを行い、年度末に集計をして配布している。アンケートで保護者の思いを把握し、保育の内容に活かしている。保護者には特に子どもの良い面を話し、子育て</p>	

てに自信を持ってもらうことに努めている。	
改善できる点/改善方法：	
V-1- (2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>加配の保育士を配置し、個別の保育計画を立てている。障害のあるなしのはざまにある子どもにも注意を払い、なるべく保護者の思いに配慮した援助を行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-1- (3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>長時間児の保育計画が策定されている。連絡簿で伝えたいことを引き継ぎ、伝えている。延長の担当保育士が利用児の担当ではないので、特に年度当初は、子どもが不安にならないよう優しく丁寧な保育に努めている。ゆったりと遊べるものを基本として、折り紙や塗り絵、ままごと、ブロック遊び、冬期はパズルやトランプ、かるた等で過ごしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

## V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2- (1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保護者記載による連絡ノートを活用や、登園時に保護者から様子を聞くなどして健康状態を把握している。特に乳児には登園時に検温を行う等して配慮している。また、毎日の体調変化には柔軟に対応できるようにしている。既往症については、入園時に家庭調査票で把握している。インフルエンザやノロウイルスについてはマニュアルを整備し、対応している。年間保育計画の中には保健計画も明記している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2- (2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用児ごとに食事の量を加減し、無理なく食べられるよう配慮している。2クラス一緒に食べたり、異年齢児で食べている。栽培した野菜を年長児が中心となってカレーやおでんを作り、他の子どもたちはそれを見ながら楽しんで食事をしている。また5歳児は当番活動である食膳のあいさつや牛乳、デザート等を配るお手伝いも行っている。週2回、蒸しパンやミニおにぎり、ラスク等の手作りおやつも提供している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2- (3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善を	(A)・B・C

している。	
<p>良い点／工夫されている点：          毎日の喫食状況をノートに記入したり、残食調査を行う等、献立や調理の工夫に活かしている。今年度から給食は委託業者によるものであるが、喫食状況を見て回ったり、意見を聞いたりして食事の改善につなげている。栄養士は市内専任であり、旬の食材を取り入れる等して利用児に合った献立を提供している。毎月、展示食とレシピを提供している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：          健康診断の結果等は保護者や職員にも伝えられている。歯科については、虫歯の多い子の場合、保護者にも協力してもらい、改善に努めている。5歳児は歯の染め出しを行い、歯みがきを丁寧に行うことや虫歯の予防について伝えている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

### V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：          年度当初に主治医からの診断書を提出してもらい、栄養士が保護者と面談し、食事の献立の除去食についてチェックを行っている。アレルギー食はトレイと専用食器、それぞれに名前を記入し、別扱いする等して配慮している。調理員と保育士と二人でダブルチェックをし、特に危険を伴う子は別に食事をする等、細心の注意を払っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：          マニュアルを職員全員で周知し、確認も行っている。ノロウイルスについて嘔吐処理の方法等、全体で日常的に注意することを繰り返し確認している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

### 評価対象VI 保護者に対する支援

#### VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果 (A)・B・C
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(A)・B・C



<p>良い点／工夫されている点： 毎月の食育だよりで栄養に関することや季節の食べ物に関する内容を知らせている。5歳児には、畑で採れた野菜を収穫から調理と一貫した食の大切さを伝えている。給食の展示やレシピの配布、試食会等を行って保護者に食への関心を高めてもらっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保護者とは毎日の送迎時に話をするほか、未満児の場合は毎日の連絡帳で情報交換をしている。とりわけ延長保育を利用する保護者には意識的に声かけする等して話す機会を作っている。子どもの良い面を保護者に伝え、子育てに自信を持ってもらうようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 年2回の個人懇談会や保育参加等の機会を設けている。保護者の参加が得られるように年度当初の園だより等で開催通知を掲載し、参加を呼びかけている。行事ごとのアンケート等で、当園に望むことや保護者の思い等を受け止めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 毎日の観察や身体測定等に注意して全身を観察している。現在は疑いのある子はいないが、職員会でマニュアルを全員で確認するようにしている。日常生活の中で、保護者の様子の変化、子どもの精神的変化に注意している。変化があれば、職員間で共有し、取り組みができるよう配慮している。毎年、虐待に関する研修を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	<p>A・(B)・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： マニュアルを整備するほか、定期的に場所や時間等、様々な想定を考えて防犯訓練を実施している。入り口には防犯カメラを設置している。また侵入時の暗号や役割分担も決める等、対応策がとられている。</p>	

<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>園の施錠、防犯カメラの設置、防犯訓練の実施等、外部からの侵入に対する対応策がとられている。今後も、さらなる対応策の強化に向けた取り組みに期待したい。また、不審者情報は常に得られる体制にあるが、近隣住民を含めた対応体制の強化についても検討されたい。</p>
--

## Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
<p>Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。</p> <p>良い点／工夫されている点： 各行事等に保護者の参加を促すため、年間計画を年度当初に知らせ、保護者の参加予定を立てやすいようにしている。運動会やお楽しみ会、給食試食会や松ぼっくりリース、数珠玉のアクセサリー等親子で一緒に制作する活動を保育に取り入れ、参加を促している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	(A)・B・C
<p>Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。</p> <p>良い点／工夫されている点： 遊戯室等を利用して保護者会が持たれている。会議には園長と主任が参加し、意見交換をしながら、一緒に会を進めている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	(A)・B・C

## Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
<p>Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。</p> <p>良い点／工夫されている点： 近隣の幼稚園とは交流の日を決めてドッジボールを行ったり、夏には小学校のプールを利用して交流したり、小学校の教員が来園し、保育を体験する機会がある。また5歳児と1年生と交流したり、園長や担任が卒園児の通う小学校での授業参観に出席し、卒園児の様子を把握している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	(A)・B・C